



# 代っ子通信

令和8年5月26日

〈第8号〉

校長 平塚智康

## 体験を通して体全体で学ぶ ～5年生田植え～

5月20日、中代町の山口さんの田んぼをお借りして、5年生の田植えが行われました。はじめに、苗を植える場所の目印をつけるための枠回しのやり方を教えていただき、5年生の代表の児童が枠回しをしました。つぎに、苗の植え方を教えてもらい、いよいよ、みんなで田んぼの中へ。

おそろおそろ田んぼへ足を入れ、苗を3本ずつ、ていねいに植えていきます。「キャ～」悲鳴をあげる子どもたちも……。徐々に、田んぼの中を歩くのにも慣れ、苗を植えるコツをつかんでいきます。中には、枠回しでつけた目印に、「田植え、楽しい～」と言いながら、手際よく苗を植えていく子どもたちもいます。しかし、中には、田んぼの泥に足を取られて、尻もちをつく子も……。そして、田んぼの半分は、田植え機で苗を植える様子を見学しました。機械だとあっという間に作業が終わってしまい、驚きでした。子どもたちは田植え体験を通して、体全体を使って、米作りについて学んでいました。



### 5年 ○○ ○○

田植え体験をして、最初はどろがいやでなれなかったけど、少しずつなれてきたらペースがはやくなりました。十字のところに植えて、足がどろにうまってぬけませんでした。わくまわしであとがついて、その十字のところに植えるのがむずかしかったです。ふつうの田んぼでは、機械でやっているから、手で植えてどろの中を歩いて田植えをしていたらすごく時間がかかりました。お米作りはこんなにたいへんなんだとわかりました。お米を作ってくれている人はこんなにたいへんなことをしてお米を作っていることがわかりました。ちゃんとたいへんなことをのりこえながら毎年やっていることがわかりました。

今日田植え体験をして思ったことは、最初から自分たちでたねをまいて作って、田んぼに植えて、そだったらしゅうかくして、こういうことを最後までやっていることがすごいなと思いました。今日お米作りのたいへんさを知ったのでこれからもおぼえておきたいです。

### 5年 ○○ ○○

ぼくは田植え体験をして思ったことは、お米を作ることがたいへんだということです。なぜならこのとでも暑い中ずっと外で作業をしているからです。ぼくも今日田植えをして暑くてきつかったです。ぼくはお米を作ることがとてもむずかしいのだと思いました。

もう一つあります。それは手で植えるのと、きかいで植えることのちがいです。ぼくは手で植えて1時間くらいかかりましたが、きかいでは2分くらいでした。ぼくはきかいがないとじごとができなくなってしまうのだなぁと思いました。

## 5年 ○○ ○○

今日のめあての「お米のありがたさ」とか「感しゃの気持ち」について思ったことは、農家さんも言っていたけど、水のかんりとかあぜの草とりとかたいへんでつくるのがむずかしいのに、みんなのためにがんばってつくってくれているので、ぼくはありがたさと感謝の気持ちをもちました。これから総合とか社会とかで米の勉強をするので、今日感じたことを忘れずに取り組みたいです。

農家さんが「米作りにはゆめと希望しかない」といっていたのがかっこよく思えたので、ぼくも大人になったら米作りをやってみたいなと思いました。

はじめて田んぼにはだして入ったので、最初から最後までわくわくかんとか、うれしい気持ちでいっぱいでした。用水にはいったら水がつめたかったのでびっくりしました。手と機械ではこんなにちがうとわかりました。むかしの人たちはすごいなと思いました。



実際に田植えの作業を体験したからこそ書ける感想がたくさんありました。

日本の米作りは約2500年の歴史があります。子どもたちは、米作りの歴史や歩みの一端を、田植えの体験を通して体全体で学ぶことができました。5年生は、4月から、社会科や総合的な学習の時間に米作りについて学習しています。今、日本ではお米の価格がとても上がっていて、私たち消費者にとっては切実な問題ですが、どうしてこのような問題が起こっているのでしょうか？5年生の子どもたちには、そうしたことについてもしっかり目を向け、考え、学んでほしいと思います。

このような貴重な体験学習ができるのも、地域の皆様のご協力があるおかげです。山口さんをはじめ中代町営農組合の皆様本当にありがとうございました。

## わんぱく相撲加賀大会

5月9日(土)、加賀市中央公園相撲場で「第38回わんぱく相撲加賀大会」が開催されました。本校からは12名の子どもたちが参加し、熱戦を繰り広げました。上位入賞者は以下の人たちです。よくがんばりましたね。すごい！

○1年男子の部 3位 ○○ ○○さん

○5年男子の部 優勝 ○○ ○○さん 準優勝 ○○ ○○さん 3位 ○○ ○○さん

○5・6年女子の部 優勝 ○○ ○○さん 敢闘賞 ○○ ○○さん

